

ほっかほっか

2月



江戸時代からあることわざ「子どもは風の子」。最低気温がマイナスの日も戸外に出たいと積極的で、元気よく鬼ごっこやリレーを楽しんでいる姿を見るとまさに「風の子」だなど感心させられます。

先月は、異年齢交流として年少さん3名と一緒に散歩に行く日もありました。年上であることを意識し、信号で手を挙げることや安全に歩く方法を言葉やモデルになって教えてくれました。

今月からは年少さんの「お当番見習い」が始まり、年中さんがお当番のやり方を教えます。

関わる中で「年上」を意識し成長してくれたらと思っています。

きりん組の生活も残り約1ヶ月となりました。今月は、「お茶の稽古」と「楽しい音楽」に参加します。両方とも年長になると本格的に習い始めますので、その前の顔合わせも兼ねて年長さんに教えて貰います。今回は、「お茶の稽古」と「楽しい音楽」について書かせて頂きます。

「お茶の稽古」講師：島田英美先生

茶道（裏千家）は、日本の伝統文化の一つ。茶室という特別な空間で行われる「お茶の稽古」は程よい緊張感があります。茶道を通して多くの事が学べます。今回は2つ紹介いたします。

① 美しい所作や立ち振る舞い

お辞儀の仕方、歩き方、座り方、茶碗の扱い方、箸の取り方など細やかな動作を丁寧に教えてくれます。先生のお手本は一つ一つが美しく丁寧で、子ども達もじーっと魅入る程です。普段の給食の時に茶碗の運び方が丁寧になったり、教えてもらった箸の取り方をしたりと日常生活にも影響します。

② おもてなしの心

向かい合った友達と同時に挨拶をする。和菓子をとる前に隣の席の子に「お先に」と言ってから取る。「お客様」役の子に、自分が点てたお茶を運んで飲んでもらうなど、「相手の事を想い敬う」という姿勢が身につきます。自分の事だけでなく、相手のこともしっかりとみることで非言語コミュニケーション能力が育ち、互いの気持ちを理解することに繋がります。

他にも五感を通しての気付きや「和敬清寂」の精神など茶道の奥深さに触れることで豊かな学びがあります。来年の3月には集大成として「保護者招待」がありますので、子ども達のお茶の姿を楽しみにお待ちください。

「楽しい音楽」講師：今泉りえ先生

今泉りえ先生は、劇団四季を退団後、数々のミュージカルに出演しながら舞台の歌唱指導やソロライブなど多岐に活躍。そんな素敵なお先生とあおぞら保育園との出会いは、お子さんを預ける保護者さんでした。「音楽を楽しんでもらいたい！」と10年以上前に始まった「楽しい音楽」。毎月練習した成果を発表する場として子ども会の時に「ドレミの歌」を披露します。この「ドレミの歌」は「ドレミと音階があることを知ってほしい」という先生の想いから始まりました。声の出し方やきれいな歌声とは？

またリズムに合わせるとはなど、

子ども達を楽しませながら聴覚や感覚を刺激してくれます。

子ども会で素敵な歌声を届けてくれると思いますので、楽しみにお待ちください。

今後の予定

2月4日（水）お茶の稽古招待（白い靴下の用意をお願いいたします。）

2月28日（土）保護者会

3月9日（月）進級（らいおん組で過ごします。）

4月1日（水）入園式（年長として、お祝いの歌をうたう予定です。）